

KT師重賞本命と見解【日経新春杯・京成杯】

京成杯

当レースの傾向からも、最近の馬場傾向からも
欧州馬力寄りの血統馬を狙います。

本命はヴェールランス。

父は新種牡馬キタサンブラック。
同種牡馬は、サンデー系の中ではキズナに近いグループ。

キズナの産駒クリスタルブラックも 2020 年の京成杯を
7 人気の人気薄で勝っているように、例年の当レース傾向に向けた種牡馬。

母はジュエラー。桜花賞を勝ったように、早い時期から体力が完成される母系。

母父はヴィクトワールピサ。京成杯と同じコースで行われる皐月賞勝ち馬。

父、母父ともに当レース向きの種牡馬。さらに早い時期から体力が完成する母系。

アライバルは父が欧州型で当レース勝ち馬も出しているハービンジャー。

母は桜花賞、オークスで高いパフォーマンスを発揮したクルミナル。

適性も体力の完成度も当レース向き。

日経新春杯

前走で前年の有馬記念に出走した馬の1月重賞成績は2015年以降、8頭出走して全て5着以下。

1人気もゴールドシップ、サトノブレスが敗退。
断然人気ステラヴェローチェの逆張りで参加してみたいレース。

本命はフライライクバード。

昨年と同レースもロベルト持ちが2、3着。
当レースで好走率が高い、キャリアが浅い伸びしろのある馬。

ヨーホーレイクも伸びしろ残すフレッシュな馬。
ディープ×ヴァイスリージェント系は中京芝重賞も得意。

すでに中京重賞実績があるように、友道厩舎調教馬は、
中京芝重賞巧者が多いです。中京芝は特殊競馬場ですから、その点も重視。

ヤシャマルは非根幹距離、タフなコース形態得意のキズナ。
有馬のディープボンド。エリザベス女王杯の再来を期待。